

議題

基準諮問会議からの報告

項目

第 26 回基準諮問会議（平成 28 年 3 月 4 日開催）に関する報告

1. 新規テーマの提言について

1. 今回の基準諮問会議において、以下の 3 つのテーマが新規テーマとして提案された。
 - (1) リース取引に関する会計基準（企業会計基準第 13 号）等の見直し検討[審議事項(2) 参考資料 1 参照]
 - (2) 「経営者が会計方針を適用する過程で行った判断」及び「見積りの不確実性の発生要因」に関する注記情報の充実[審議事項(2) 参考資料 1 参照]
 - (3) 子会社、関連会社株式の減損とのれんの減損の関係[審議事項(2) 参考資料 1 参照]
2. 基準諮問会議で審議の結果、以下の対応を図ることとなった。

(1)について

本提案について貴委員会で対応頂きたく、今後、貴委員会において検討することを予定している中期運営方針の中に、IASB が本年 1 月に公表した新リース基準への対応を含めて頂きたい。

(2)について

実務対応レベルとして基準諮問会議に提案されたが、会計基準レベルの提案であると考えられ、基準諮問会議の事務局において提案の内容を検討の上、次回の基準諮問会議において審議を行う。

(3)について

基準諮問会議より、実務対応専門委員会に新規テーマの評価の依頼をする。

3. 基準諮問会議において聞かれた意見については、議事要旨をご参照頂きたい。

2. ASBJ の活動状況について

4. ASBJ より前回の基準諮問会議（平成 27 年 3 月 18 日）以後の活動の状況として、現在開発中の会計基準に関する今後の計画の公表、緊急的に対応を検討する可能性のあるテーマ（マイナス金利及び平成 28 年度税制改正に対応した減価償却）等について報告を受けた。
5. マイナス金利及び平成 28 年度税制改正に対応した減価償却について、必要に応じて、貴委員会で検討頂きたい。

以上